



Title	沖縄関係 日米沖縄返還協定/VOA存続問題(03) 沖縄VOAの中国向け放送 外務省外交史料館レファレンス番号 : H222349)
Author(s)	-
Citation	平成22年度外交記録公開(4)No.1 公開日 : 平成23年2月18日 外務省外交史料館管理番号 : 2011-0005 CD・DVD番号 : H22-014
Issue Date	
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/43649
Rights	外務省外交史料館所蔵資料

(03)
井
繩
V
O
A
の
中
国
向
け
放
送

○
○

○
○

報道発表
P中表
アメリカ
参事官
北米才一課長

秘密標記(赤色)

() 政 第 3114 号
昭和 48 年 3 月 27 日

外務大臣 職

在 牛 米 場 大
日本国特命全權大使

処理
事務
属領
科学
航
調査
米園
連絡
庶務

(件名)
沖縄VOAの中国向け放送

引用公・電信
日付・番号

(VOA) の J"江" (HENRY GOSHO) 東印太平洋

課長 沖縄VOAの中国向け放送とあつ

最近の問題は、佐藤に述べたこと

次の通り。

付属添付 付属空便(行) 付属空便(DP) 付属船便(貨) 付属船便(郵)

本信送付先:
本信写送付先:
省内写配布希望先: 米保. 米保. 了中.



1. VOA とは、沖縄VOA 中継所の
移転につき予算要求をばしめたが、移転
先が定かでない。一番考えがちな場所
である韓国については、(1)南北会談が
進行している情勢の中、VOAを韓国に
持っていくことは、好ましくないとの
判断 (2) 北に、極東放送の送信
所がある韓国に、VOAを移して行くの
は、(1)との判断等から米政府部内には
あり、現在、韓国は無理と考へら
れている。台湾の台語問題に及ぶ
のと、残る可能性は、(1)と(2)の
如く、地理的にみれば高く
なく、結局、持っていく
か否か定かでないというところから、

ある。

2. 他方、VOAの本年1月より18日迄中国本土向けの英語教育放送に対し、二ヶ月前に、200通以上の [redacted] に対し、中国の中へ [redacted] (VOAの中国向け放送) に対して以来初の積極的な反応を返す由) に、おのり高を認めた。 [redacted] 上記放送も、当初の15分以内の30分以内は延長された。 [redacted] このようは、中国内からも積極的な反応が起る [redacted] 中国側の、西の時間帯の放送に [redacted] 妨害電波の [redacted] 射を中止した [redacted] こと

意味がとて思われる。 [redacted] 何故中国側から [redacted] 措置に出るに [redacted] 判断する。 [redacted] 最近、国連の中国代表団の、USIAに対し、VOAの中国向け中国語放送の [redacted] 時 [redacted] 送 [redacted] してほしいとの要望が [redacted] 出た。 [redacted] こと [redacted] 何故 [redacted] こと [redacted] 判断 [redacted] している。